



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 株式会社パピレス
 コード番号 3641 URL <http://www.papy.co.jp/info/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井康子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 須永喜和

TEL 03-6272-9533

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,263	16.3	1,223	92.5	1,207	98.0	819	111.9
2020年3月期第2四半期	11,400	25.1	635	42.8	609	47.4	386	50.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 811百万円 (114.8%) 2020年3月期第2四半期 377百万円 (52.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	83.21	82.72
2020年3月期第2四半期	39.03	38.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,578	8,314	56.6
2020年3月期	13,067	7,587	57.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 8,256百万円 2020年3月期 7,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		10.00	10.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,171	12.1	2,049	33.7	2,034	36.4	1,382	42.9	140.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	10,326,880 株	2020年3月期	10,326,880 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	453,694 株	2020年3月期	442,263 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	9,844,798 株	2020年3月期2Q	9,905,895 株

(注)「期末自己株式数」には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(2021年3月期2Q 230,000株、2020年3月期 270,000株)が含まれています。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数(2021年3月期2Q 260,164株、2020年3月期2Q 307,432株)に含めています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、当社グループの事業は電子書籍事業のみであり、重要な事業拠点も当社のみとなっているため報告セグメントはありません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあります。

「インプレス総合研究所『電子書籍ビジネス調査報告書2020』によると、電子書籍の市場規模は、2019年度は3,473億円（対前年22.9%増）と推計され、社会問題化していた海賊版サイトの閉鎖以降、電子書籍の認知度向上と正規サイトの利用促進が進み、売上は拡大が続いています。一方、電子雑誌の市場規模は、2019年度は277億円（対前年6.4%減）と推計され、2年連続の減少となりました。

電子書籍の市場規模は、当第2四半期連結累計期間においても、単簿り需要も寄与して、順調に拡大していますが、市場環境は、市場参入企業も多く、厳しい競争が続いています。この結果、コンテンツ需要の増加による、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入れコストが上昇しています。また、集客を強化するための、広告宣伝や販促コストも拡大傾向となっています。

このような環境の中で、当社グループは、顧客第一主義のもと、サービスの向上と他社との差別化を図るとともに、広告宣伝と販売促進施策を積極的に行うことにより、事業拡大に努めています。また、海外市場の開拓及び次世代コンテンツの開発にも積極的に取り組んでいます。さらに、広告宣伝、サイト検索機能の向上のためにAIの実用化を進めています。

広告宣伝施策は、インターネット広告及びTVCMを積極的に実施しています。

販売促進施策は、ポイント購入時及び使用時のサービスポイント付与施策を継続的に実施しています。

海外市場の開拓は、広告施策、サイト改良、翻訳体制の強化を進め、売上規模が拡大しています。

次世代コンテンツの開発は、デジタルに最適化した、新しい電子書籍コンテンツの開発を進めています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は13,263百万円（前年同四半期比16.3%増）、営業利益は1,223百万円（前年同四半期比92.5%増）、経常利益は1,207百万円（前年同四半期比98.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は819百万円（前年同四半期比111.9%増）となりました。

以下、当第2四半期連結累計期間における主な活動状況を報告します。

(集客施策)

TVCM、インターネット広告等の広告施策を積極的に実施しています。

また、当社独自のキャンペーン施策、「GWタテコミ大キャンペーン」、「Renta! 限定 今だけ100円レンタルキャンペーン」等を実施しました。

(サイト改良施策)

AIによるコンテンツ検索機能の向上を進めています。

また、「PayPay」での決済サービスを追加しています。

(コンテンツ施策)

「Renta!」を中心に、タテ読みフルカラーコミック「タテコミ」の拡充を進めています。「タテコミ」の普及を目的としたキャンペーン施策を実施しています。

また、原稿料と印税に加えて、年額最大100万円を支給する、パートナー漫画家募集企画を実施しています。

さらに、オリジナル電子コミックレーベル「Renta! コミックス」で、2020年10月放送予定のオリジナルアニメ「アクダマドライブ」のコミカライズを行い、独占配信を開始しています。

(次世代コンテンツ開発施策)

小説の文章を短く区切り、画像を追加した「絵ノベル」(特許取得済)及びコミックを動的演出で見せる「コミックシアター」のフルカラー化、フルボイス化などの改良を進めています。

また、「タテコミ」にアニメーション効果を付加した「タテコミMove!」及び「タテコミMove!」に人気声優によるボイスを付加した、スマホで見るタテ型マンガアニメーション「アニコミ」の制作体制の強化も進めています。

(海外展開施策)

「英語版Renta!」、「中国語繁体字版Renta!」の翻訳体制の強化を進め、掲載コンテンツを拡充しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は14,578百万円(前連結会計年度末比11.6%増)となりました。

流動資産は13,717百万円(前連結会計年度末比11.8%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金が11,027百万円、売掛金が2,484百万円です。

固定資産は861百万円(前連結会計年度末比7.9%増)となりました。主な内訳は、投資その他の資産が810百万円です。なお、重要な設備の新設および除却はありません。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は6,264百万円(前連結会計年度末比14.3%増)となりました。

流動負債は6,263百万円(前連結会計年度末比14.3%増)となりました。主な内訳は、買掛金が3,127百万円、未払金が1,225百万円です。

固定負債は1百万円(前連結会計年度末比40.0%減)となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は8,314百万円(前連結会計年度末比9.6%増)となりました。主な内訳は、資本金が414百万円、資本剰余金が891百万円、利益剰余金が7,799百万円です。

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は56.6%(前連結会計年度末57.6%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,475百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の残高は10,281百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は1,689百万円(前年同四半期比274.5%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,207百万円、仕入債務の増加額187百万円、未払金の増加額151百万円、法人税等の支払額186百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は22百万円(前年同四半期比510.9%増)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出214百万円、定期預金の払戻による収入212百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は188百万円(前年同四半期比173.4%増)となりました。これは、自己株式の取得による支出85百万円、配当金の支払額101百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年10月29日の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,548	11,027
売掛金	2,513	2,484
コンテンツ資産	8	16
その他	213	203
貸倒引当金	△14	△15
流動資産合計	12,269	13,717
固定資産		
有形固定資産	55	51
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産	743	810
固定資産合計	798	861
資産合計	13,067	14,578
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,939	3,127
未払金	1,075	1,225
未払法人税等	200	461
賞与引当金	68	106
株式報酬引当金	77	25
その他	1,116	1,316
流動負債合計	5,478	6,263
固定負債		
その他	1	1
固定負債合計	1	1
負債合計	5,480	6,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	414	414
資本剰余金	891	891
利益剰余金	7,082	7,799
自己株式	△848	△830
株主資本合計	7,539	8,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△11	△18
その他の包括利益累計額合計	△11	△18
新株予約権	25	25
非支配株主持分	33	33
純資産合計	7,587	8,314
負債純資産合計	13,067	14,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,400	13,263
売上原価	5,149	6,007
売上総利益	6,251	7,255
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,471	3,541
代金回収手数料	905	1,071
貸倒引当金繰入額	11	5
賞与引当金繰入額	37	63
株式報酬引当金繰入額	25	25
その他	1,163	1,324
販売費及び一般管理費合計	5,615	6,031
営業利益	635	1,223
営業外収益		
受取利息	8	7
退会者未使用課金収益	2	2
その他	0	0
営業外収益合計	11	9
営業外費用		
投資事業組合運用損	2	—
為替差損	34	25
その他	0	0
営業外費用合計	37	26
経常利益	609	1,207
税金等調整前四半期純利益	609	1,207
法人税、住民税及び事業税	250	437
法人税等調整額	△26	△48
法人税等合計	224	388
四半期純利益	385	818
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	386	819

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	385	818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
為替換算調整勘定	△7	△7
その他の包括利益合計	△7	△7
四半期包括利益	377	811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379	812
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	609	1,207
減価償却費	3	4
株式報酬費用	—	25
投資事業組合運用損益(△は益)	2	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	11	38
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	51	25
受取利息及び受取配当金	△8	△7
為替差損益(△は益)	41	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△185	29
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3	△7
仕入債務の増減額(△は減少)	315	187
未払金の増減額(△は減少)	43	151
その他	82	214
小計	968	1,868
利息及び配当金の受取額	8	7
法人税等の支払額	△525	△186
営業活動によるキャッシュ・フロー	451	1,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△218	△214
定期預金の払戻による収入	216	212
有形固定資産の取得による支出	△0	△1
その他	△1	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△85
配当金の支払額	△101	△101
リース債務の返済による支出	△0	△0
非支配株主からの払込みによる収入	33	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68	△188
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	356	1,475
現金及び現金同等物の期首残高	7,792	8,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,149	10,281

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。